

## 02 令和4年度 学校評価（生徒・保護者）分析

- (1) 総平均 生徒：3.5（昨年同期 3.5）  
保護者：3.3（昨年同期 3.3）

### (2) 生徒アンケートの結果

- 20項目中16項目で3.4以上の評価を得ている。全体的に生徒の学校生活に対する満足度は高いと考えられる。そのうち3.7以上の評価を得た項目は、質問1「教育目標に基づいた教育活動」、質問4「授業の理解」、質問7「悩み・いじめへの対応」、質問8「進路情報」、質問9「部活動」、質問13「パソコン」、質問18「清掃活動」の7項目であった。
- 今年度第1回で比較的低い評価を得た項目である、質問11「地域の行事」、質問20「読書習慣」について、地域の行事については、2.9→3.4と上昇した。今後もこれまで同様地域行事への参加を呼びかけていきたい。読書習慣については、3.1→3.2と改善の傾向が見られた。特に今年度第1回で評価が低かった1年生が2.6→3.1と上昇した。今後も指導を続けていく。
- 昨年同期と比べて0.2以上評価が下がったのが質問5「総合的な探究の時間」、質問13「パソコン」、質問14「家庭学習」である。総合的な探究の時間については、第1回と比べて1,2年生の評価が下がっている。1学期は1年生で進路探究を行ったり、おぢか企業説明会など進路に関する講演会を行い、自己の在り方や生き方を考える機会を設けている。また、2年生は夏休みにインターンシップを行っている（希望者）。2学期以降は地域探究がメインであり、ここでは地域に関わる探究活動を通して、自己の在り方や生き方を考えながら、地域の抱える課題を発見し、解決することを目指している。直接的に自己の在り方や生き方を考えるわけではないので、評価が下がったのではないかと考えられる。また、パソコンについては、評価がもともと高く、今回の評価も3.8と高評価であった。校内のICT機器も少しずつ充実してきており、使用場面も増えているので、今後も生徒のよりよい学びができるよう、継続的に環境整備を行っていく。家庭学習については、次に記載する。
- 学習関係の項目について、1年生は今回も低い評価となった。日頃の学習時間を見ても、目標に到達できていない生徒が多い。しかし、個別にみると、学習時間自体は少しずつ増えてきているので、今後も時間の使い方について粘り強く指導を行っていく。2年生は質問15「家庭での学習の仕方」について前回よりも0.5下がった。それぞれの進路志望や理解度に応じてアドバイスを行い、生徒が自分から学びに向かうような仕掛けや工夫を行っていききたい。

### (3) 保護者アンケートの結果

- 16項目中7項目で3.4以上の評価を得た。そのうち3.7以上の評価を得た項目は質問11「進路情報」であった。生徒一人ひとりが自分にあった進路を見つけられるよう、必要な情報を今後も提供していく。
- 昨年度同期と比べて0.2以上評価が下がったのは、質問12「部活動」、質問13「家庭学習」、質問16「読書習慣」であった。「部活動」については、1,2年生の保護者からの評価が低下した。生徒アンケートの結果では、1年生の評価は変わらないが、2年生の評価が回復しており少しずつ生徒の意識は上昇している。部員が少ない状況はまだ続くが、今後も地域や中学校との連携をしながら、少しでも充実した活動になるよう工夫していくことで、保護者からみた評価も回復してくるのではないかと考える。「家庭学習」については、特に1年生の保護者からの評価が低くなっていたが、今年度第1回と比べると0.5上昇しており（2年生も0.2上昇）、改善傾向にあるので、今後も粘り強く指導していく。「読書習慣」については、例年の課題であるが生徒アンケートにおいて改善傾向にあるため、引き続き指導を行っていく。
- 今年度第1回と比べて0.2以上評価が下がったのは、7項目であった。質問3「学校行事」への満足度については、生徒の満足度は3.3→3.6と回復しているので（保護者も昨年度よりは0.3上昇）、今後も感染症対策を行いながら、その状況でできる限りのことを行っていきたい。また、質問14「あいさつ」については、生徒会も目標にあげており、週2回のあいさつ運動を自分たちで実施している。この活動を継続することで、生徒の意識の向上を図りたい。